

もりやま景況調査

令和4年1月～3月期

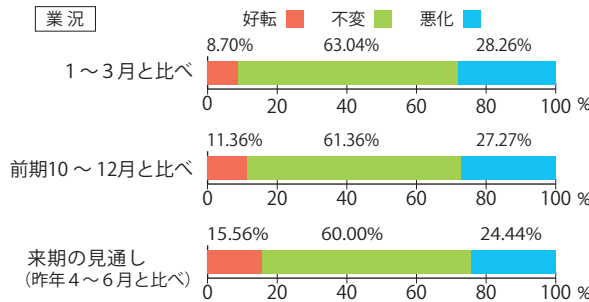


※DI (Diffusion Index (景気動向指数)) … 「増加」 「好転」 企業割合から 「減少」 「悪化」 企業割合を差し引いた数値

| | | | | | |
|-------|-------|----------------|------------------|--------------------|---------|
| DI 指数 | 30 以上 | 10 以上 30 未満 | ▲ 10 以上 10 未満 | ▲ 30 以上 ▲ 10 未満 | ▲ 30 未満 |
|-------|-------|----------------|------------------|--------------------|---------|

業況

前回調査 (令和3年10月～12月期) と比べて悪化している。来期は改善の見通し。

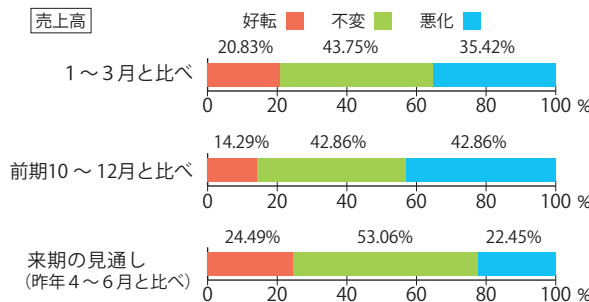


| | | | |
|---------------------|-------|--------|--|
| 1～3月期動向 昨年同期との比較 | 全体 | ▲ 19.6 | |
| | 小売業 | ▲ 15.4 | |
| | 製造業 | ▲ 10.0 | |
| | 建設業 | ▲ 25.0 | |
| | サービス業 | ▲ 25.0 | |
| | 卸売業 | ▲ 33.3 | |

※業況DI (好転－悪化) は今期が▲19.6で前回調査の▲8.7から10.9ポイント悪化
来期の見通しDI (好転見通し－悪化見通し) は▲8.9で、今期より10.7ポイント改善の見通し

売上高

前回調査 (令和3年10月～12月期) と比べて悪化している。来期は改善の見通し。

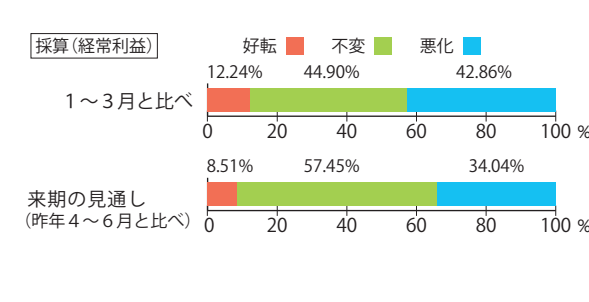


| | | | |
|---------------------|-------|--------|--|
| 1～3月期動向 昨年同期との比較 | 全体 | ▲ 14.6 | |
| | 小売業 | ▲ 7.1 | |
| | 製造業 | 0.0 | |
| | 建設業 | ▲ 50.0 | |
| | サービス業 | ▲ 23.1 | |
| | 卸売業 | 33.3 | |

※売上高DI (好転－悪化) は今期が▲14.6で前回調査の2.1から16.7ポイント悪化
来期の見通しDI (好転見通し－悪化見通し) は2.0で、今期より16.6ポイント改善の見通し

採算(経常利益)

前回調査 (令和3年10月～12月期) と比べてやや悪化している。来期はやや改善の見通し。



| | | | |
|---------------------|-------|--------|--|
| 1～3月期動向 昨年同期との比較 | 全体 | ▲ 30.6 | |
| | 小売業 | ▲ 20.0 | |
| | 製造業 | ▲ 30.0 | |
| | 建設業 | ▲ 87.5 | |
| | サービス業 | ▲ 15.4 | |
| | 卸売業 | 0.0 | |

※採算(経常利益) DI (好転－悪化) は今期が▲30.6で前回調査の▲21.3から9.3ポイント悪化
来期の見通しDI (好転見通し－悪化見通し) は▲25.5で、今期より5.1ポイント改善の見通し

新型コロナウイルスの影響などの意見

- ・よい意味でのコロナに対するあきらめと達観が広がってくると徐々に人流が戻ってくるのではないかと期待しています。
- ・3密の割引きとバルの周知が広がり効果も大きくなってきたように思います。
- ・オンライン、デジタル化が進みましたが、行政や団体があまり進んでいないように思われる。
- ・歳時や冠婚葬祭の核家族化、簡素化で引合いがあっても簡素化少量化している。
- ・新型コロナウイルスで客足が伸びず、デジタル化で銀行、問屋、お客様との距離が開いていく。アナログ型の人間関係や商売のあり方が今の社会秩序に「ノー」と言われているようで中小零細企業の隘路(あいろ)がやってきた。

その他、調査結果の詳細については当所ホームページをご覧ください。

<https://moriyama-cci.or.jp/survey/>

